

東日本大震災対策委員会 被災地域の復興グランド・デザイン分科会（第3回）  
議事要旨

【日時】 平成23年5月30日（月） 10:00～12:00

【会場】 日本学術会議 5-A（2）会議室

【議題】

- 1) 前回議事要旨（案）の確認
- 2) 報告書の中間取りまとめについて
- 3) その他

【資料】

- 資料1 前回議事要旨（案）
- 資料2 中間提言（案）
- 資料3 東日本大震災からの復興に関する提言（科学技術振興機構 研究開発戦略センター）

【出席者】 進士五十八、石川幹子、大西隆、淡路剛久、江原由美子、今井浩三、武田和義、西澤直子、濱田政則、森田朗

記

1 復興の目標：「いのちと希望を育む復興」

復興は、何よりも、人々のいのちを大切にし、暮らしを再建し、未来への希望を育むものでなければならない。未曾有の災害の記憶を国民が一体となって共有し、災害を二度と繰り返さないことを誓うことが重要である。また、復興は、津波や原発災害の恐れのある国内外の地域に対しても、災害に強く、安全な地域となるよう具体的指針を提示するとともに、復興の道筋を通して人間と自然の新しい関係を構築し、21世紀日本の未来像を示し、地球環境の持続的発展に貢献することを目標とする。

2 復興に向けての原則

- (1) 「原発問題に対する国民への責任及び速やかな国際的対応推進」の原則
- (2) 「日本国憲法の保障する生存権確立」の原則
- (3) 「市町村と住民を主体とする計画策定」の原則
- (4) 「いのちを守ることでできる安全な沿岸域再生」の原則
- (5) 「産業基盤回復と再生可能エネルギー開発」の原則
- (6) 「流域自然共生都市」の原則

(7) 「国民の連帯と公平な負担に基づく財源調達」の原則